

「イエスのバプテスマ」 マタ3:13~17

1. はじめに

(1) イエスの公生涯の開始

- ①バプテスマのヨハネとともに始まった。
- ②神の国運動は、民族的運動となった。
- ③今日の箇所、いよいよメシアが登場する。

(2) イエスのバプテスマ (A. T. ロバートソンの §24)

***マコ1:9~11**

○マタ3:13~17

***ルカ3:21~23**

(例話) 映画「鳥」 1963年

映画「マーニー」 1964年 ティッピー・ヘドレンとショーン・コネリー
サイコサスペンス 主人公の登場シーン

(3) イエスのバプテスマは、私的生活と公生涯を区分する出来事である。

- ①マタ3:13と4:12に挟まれた箇所
*前者では、イエスはガリラヤを出、後者ではガリラヤに戻っている。
- ②2つの出来事が記されている。
*ヨハネによるバプテスマとサタンによる誘惑である。
- ③2つの出来事は、イエスのメシアとしての自己認識に深く関係している。

2. アウトライン

- (1) イエスのバプテスマ (マタ3:13~15)
- (2) 天からの承認 (マタ3:16~17)

3. メッセージのゴール

- (1) 聖霊が下ったことの意味
- (2) 天からの声がしたことの意味

このメッセージは、イエスのバプテスマについて学ぼうとするものである。

I. イエスのバプテスマ (マタ3:13~15)

1. イエスの登場

「さて、イエスは、ヨハネからバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンにお着きになり、ヨハネのところに来られた」(13節)

(1) 神の国運動は、民族的運動となった。

- ①エズラの時以来、あるいは、それ以上の霊的覚醒が起こった。
- ②人々は、民族的罪と個人的罪を告白し、ヨハネからバプテスマを受けた。
- ③メシア到来の希望が高まった。
- ④そして、神の 때가 満ちた。ヨハネのバプテスマの噂がナザレにまで届いた。

(2) 「ガリラヤからヨルダンにお着きになり、」

- ①イエスは12歳以降も、ガリラヤのナザレに住み続けた。
*約30年間
- ②そして、メシアとして荒野に登場する。
- ③多くの目撃者の前でという意味では、最高の舞台である。

(3) 「ヨハネからバプテスマを受けるために、」

- ①ガリラヤからヨルダンに来たことは、自発的行為である。
- ②ここで、2つの道が交差し、先の道が舞台から徐々に消えていく。

2. ヨハネの疑問(14節)

「しかし、ヨハネはイエスにそうさせまいとして、言った。『私こそ、あなたからバプテスマを受けるはずなのに、あなたが、私のところにおいでになるのですか』」(14節)

(1) ヨハネのバプテスマの性質

- ①罪を悔い改めた人が受けるバプテスマである。
- ②イエスには罪がないので、このバプテスマはイエスとは無関係である。

(2) ヨハネの謙遜

- ①イエスはヨハネよりも偉大である。
- ②ヨハネはイエスの前では罪人である。
- ③それゆえ、ヨハネがイエスからバプテスマを受けるべきである。

(3) ヘブル人の福音書(紀元2世紀の外典)

「見よ、主の母と、主の兄弟たちが、彼に言った。『バプテスマのヨハネが罪の赦しのためのバプテスマを施している。私たちも行って、彼からバプテスマを受けようでは

ないか。』しかし、主は彼らに言った。『下って行って、ヨハネからバプテスマを受けよとは、私がどのような罪を犯したというのか。ただし、もし私がこのように言うことが無知のゆえであるとするなら、それが罪である可能性はあるが』

①ヘブル人の福音書は、イエスのバプテスマに関して疑問を呈している。

②マタイは、誰もが感じるこの疑問に答えようとしている。

*マタ3:14~15は、マタイの福音書に特有のものである。

3. イエスの回答 (15 節)

「ところが、イエスは答えて言われた。『今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての正しいことを実行するのは、わたしたちにふさわしいのです』。そこで、ヨハネは承知した」(15 節)

(1) イエスは、ヨハネの理屈を否定していない。

①別の理由で、バプテスマを受けるのである。

(2) 「すべての正しいことを実行する」

①メシアはモーセの律法を成就するために来られた。

②メシアは罪人の罪を贖うために来られた。

③イエスのバプテスマは、ヨハネのバプテスマを承認し、罪人と一体化すること。

④イエスは、神の御心をすべて行おうとされた。

(3) バプテスマの本来の意味は、一体化である。

①布を染料液に浸けると、その色に染まる。それがバプテスマの意味である。

②ヨハネが語る神の国のメッセージとの一体化

③メシアの先駆者であるヨハネとの一体化

④罪人との一体化 (罪人の一人のようになった)

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方であって、神の義となるためです」(IIコリント5:21)

II. 天からの承認 (マタ3:16~17)

1. 神の御霊 (16 節)

「こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった」

(1) バプテスマそのものではなく、バプテスマの結果が記されている。

①ルカ3:21

「さて、民衆がみなバプテスマを受けていたころ、イエスもバプテスマをお受けになり、そして祈っておられると、天が開け、」(ルカ3:21)

②イエスは、そこで祈っておられた。

③バプテスマそのものに神秘的力があるのではない。

(2) 「神の御霊が鳩のように下って、」

①聖霊は、三位一体の第3位格である。

②この箇所は、ユダヤ的解釈が必要である。

③鳩の姿は、ユダヤ人たちがそれを聖霊と認識できるようにするため・

④聖霊を鳩と結びつける考え方の起源は、創世記1:2にある。

「地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた」(口語訳、創1:2)

*母鳥が卵を抱くように、神の霊が地表を抱いている。

⑤後代のラビ文書では、その鳥は鳩であるとの解説がされるようになる。

*鳩の性質は、柔和、平和、聖潔、などである。

(3) イエスの性質がこの時から変化したわけではない。

①イエスは、聖霊によって誕生したお方である。

②最初から、その性質は聖い。

③これは、メシアとして公に宣言されたということである。

④また、イエスはメシアとしての奉仕のための力を受けた。

「その上に、【主】の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と【主】を恐れる霊である」(イザ11:2)

2. 天からの声(17節)

「また、天からこう告げる声が聞こえた。『これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ』」(17節)

(1) 専門的には、これは「バット・コル」と呼ばれる現象である。

①中間時代のユダヤ教では、「バット・コル」は、預言者が登場しなくなっ
て以降の神との交流法であるとされた。

②ここで、神との交流が再開された。

③イエスの公生涯で、3度天からの声が聞こえてきた。

3. イエスのバプテスマは、三位一体の神がすべてかかわった出来事となった。

(1) 御子がバプテスマを受け、御霊が鳩のように下り、父なる神が声を出された。

(2) 天からの声もまた、イエスのメシア性の公の宣言である。

「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」(17節)

4. ルカ3:23a

「教えを始められたとき、イエスはおよそ三十歳で、人々からヨセフの子と思われていた」(ルカ3:23a)

(1) 旧約聖書では、30歳は奉仕を開始する年齢であることが多い。

①ヨセフは、30歳でエジプトの宰相となった(創41:46)。

②祭司は、30歳から奉仕を始めた(民4:2)。

③ダビデは、30歳で王となった(2サム5:4)。

(2) ルカはイエスの年齢を知らなかったわけではない。

①イエスが、公生涯に立つ準備ができていることを伝えている。

結論：

1. 聖霊が下ったことの意味

(1) バプテスマのヨハネのバプテスマと、クリスチャンのバプテスマは違う。

(2) クリスチャンのバプテスマは、キリストに付くバプテスマである。

(3) バプテスマは、キリストを信じた人にすでに起こっていることの象徴である。

①キリストとの一体化

②普遍的教会の一員となっている。

(4) キリストに起こったことは、私たちにも起こる。

①イエスの上に聖霊が下り、メシアの奉仕に必要な力を与えた。

②私たちにも同じことが起こる。

*聖霊の内住

*聖霊の賜物の付与

(例話) 小学校5年生で、父からご褒美を受けた。50ドル以下のもの。

2. 天からの声がしたことの意味

「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」(17節)

(1) 詩2:7とイザ42:1の合体

①中間時代のユダヤ教は、この2つの箇所をメシア預言と理解していた。

(2) 詩2:7

「わたしは【主】の定めについて語ろう。主はわたしに言われた。『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ』」(詩2:7)

(3) イザ42:1

「見よ。わたしのささえるわたしのしもべ、わたしの心の喜ぶわたしが選んだ者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は国々に公義をもたらす」(イザ42:1)

(4) 天からの声は、イエスにメシアとしての自己認識を与えた。

①メシアは、根源的な意味で、神の子である。

②メシアは、主の僕である。

*登場して最初にしたのは、ヨハネからバプテスマを受けることである。

(例話) 代替わりした社長の息子が、最初にトイレ掃除をするようなもの。

(5) サタンの誘惑は、メシアが本当に主のしもべであるかどうかを試す。

(6) クリスチャンの自己認識

①神の子

②キリストのしもべ